

50人に1人

# 子どもが弱視!?かも

3歳6か月児健診で  
早期発見!

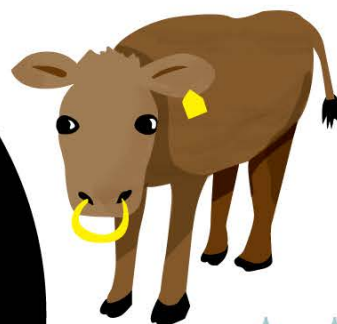


就学までに  
検査・発見・治療  
が大切だよ!

子どもは自分が  
「見えてない」って  
知らないんだ!



検査までに  
ランドルト環  
に慣れておこう



治療用のメガネ購入には  
健康保険が適用される  
場合があります

弱視は就学までに **早期発見・早期治療** ができれば効果的です

視力の発達は身長や体重の発育に比べて、はるかに早い時期(8歳頃)に大人と同じくらいに見えるようになります。3歳6か月児健診の視力検査で見えにくいようなら、精密健診をお勧めしています。

乳幼児健診や子育てについて



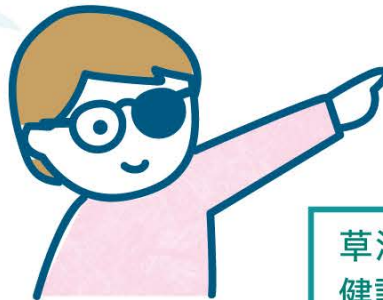
# 幼児の視覚の発達は6歳くらいまでが最も大切！ 日ごろのお子さんの様子も気をつけて見ていきましょう

## 視力検査について

視力検査では、ランドルト環が描かれたカードをひとつ見せながら、お子さんが同じ向きになるよう手元のランドルト環を合わせます。カードに描かれたランドルト環がどんどん小さくなっていきます。



右目と左目を  
それぞれ検査するので  
子ども用メガネをかけます



← 遮眼子は使わないよ

草津市では検査機器を使っ  
ての健診の導入も進めています。

## おもちゃなどを使って慣れておくと健診当日スムーズですよ

健診で視力検査がスムーズにできるように「ランドルト環をさがそう!」でご家庭で練習してみてください

イラストの中のランドルト環を探することで、まずはランドルト環の形を理解してください。その次に、切り取ったカードを同じ向きにできるかやってみましょう!



ランドルト環をさがそう!ゲームはWEBサイトからダウンロードできます。プリントアウトして遊んでください

